

1 地域の現状

- コロナ禍の収束にともない、中部国際空港や愛知県国際展示場を中心に、**常滑市を訪れる人流が回復**しています。
- 特に今年度は、日本ガイシホールが改修工事で休館していることもあり、愛知県国際展示場で非常に多くのイベントが開催されています。
- 一方で常滑市には愛知県国際展示場の**後背地**として課題があり、このような**地域活性化の機会を取り込めきれていない**状況です。

● 地元の課題

- 常滑市の活性化やさらなる来訪者の誘客のため、市街地側が持つ魅力的な地域資源も活かして、**広く地域に波及**させることが重要
- 初めて来訪する人でも、**空港島と市街地を気軽・簡単に移動できる「足」**が必要

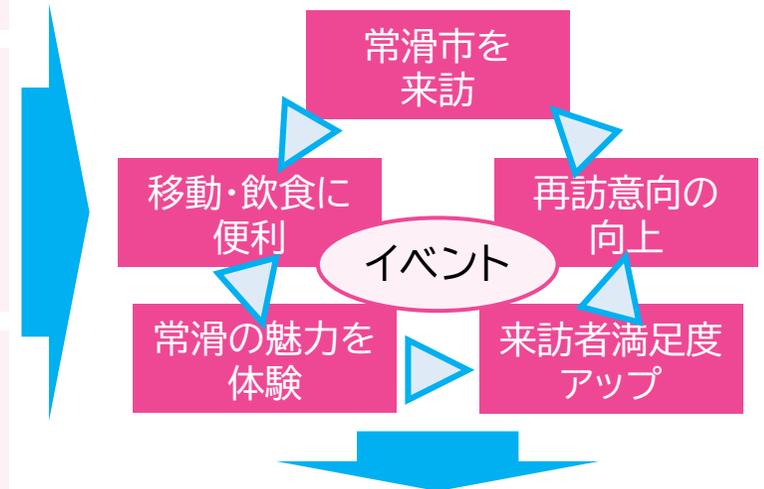
● 交通事業者の課題

- コロナ禍や「2024年問題」の影響で、**人手不足が深刻**
- タクシーは、鉄道やバスでは対応できない移動需要に応える公共交通だが、一部時間帯で**需要過多・供給不足**が生じており、住民の生活移動でも利用者の希望に応じられない場面がある

● 宿泊事業者の課題

- 空港島では夜遅くまで営業している飲食店が少なく、宿泊客が**いわゆる「夕食難民」**となっている
- 市街地に多くの飲食店がありながら、コンビニエンスストアで食事を済ますケースなどあり、**来訪者の満足度が低下につながる**

地域の課題を乗り越え、イベントを軸に
新規需要の創出
潜在需要の発現
 につなげ、活性化の好循環を生み出す



- 地域の活性化!!
- イベント誘致促進!!
- さらなる来訪者の増加!!

2 これまでの取組み

- 常滑市ではこれまでも、空港島を訪れる多くの人を市街地に取り込むことに取り組んできました。
- 2023年度、2024年度には、ビジネス展示会など来訪者が多い日を中心に、イベントの主催者、出展者、来場者に市街地を訪れてもらうよう、運賃無料の空港島～市街地シャトルバス「TOKONAME魅力体験シャトルバス」の実証運行を実施しています。

(1) TOKONAME魅力体験シャトルバス実証運行の概要

	2023年度		2024年度	
実施時期	10月～3月のうち12日		9月～2月のうち18日（予定）	
車両	20人乗り（補助席使用で最大27人乗り）マイクロバス 2台			
時間帯	10時～24時		9時30分～23時	
ダイヤ・便数	おおむね30分間隔 最大28便		30分～60分間隔 最大19便	
ルート	10時～17時	17時～24時	9時30分～17時	17時～23時
	①愛知県国際展示場 ②陶磁器会館 ↓ ④イオンモール常滑 ①愛知県国際展示場	①愛知県国際展示場 ↓ ③常滑駅 ③イオンモール常滑 ①愛知県国際展示場	①愛知県国際展示場 ②常滑駅 ③陶磁器会館 ④イオンモール常滑 ⑤空港ホテル群 ⑥空港連絡通路下 ①愛知県国際展示場	①愛知県国際展示場 ②常滑駅 ↓ ④イオンモール常滑 ⑤空港ホテル群 ⑥空港連絡通路下 ①愛知県国際展示場
	循環ルート（1周約40分）		循環ルート（1周約50分）	
利用実績 <small>2024年度は9月のみ</small>	929人／150便 1便あたり 6.2人	803人／162便 1便あたり 5.0人	289人／55便 1便あたり 5.3人	591人／40便 1便あたり 14.8人
	1,732人／312便 1便あたり 5.6人		880人／95便 1便あたり 9.3人	

(2) 実証運行の結果について

【利用状況から】

- 1便あたりの平均の利用者数はやや少ないが、ピークでは20人以上が利用する便（最大40人）もありました。
- イベントの規模・来場者や内容、時間帯により利用者数が大きく増減しています。
- コンサートなど一気に人が動くイベントや、連絡橋が渋滞するイベントなどはそれぞれ対策が必要です。

【利用者の声から】

- アンケートの結果から、次のような声もあり、市街地への移動需要の創出などの効果がありました。
 - ✓ 空港島から市街地に出かけるきっかけになった
 - ✓ いつも空港島のホテルに宿泊するが、コンビニしかなくて困っていた。市街地に移動できるのは魅力的

【宿泊事業者・展示場など関係者から】

- ヒアリングでは、定期的な運行を期待する声がありました。
 - ✓ シャトルバスがあることで、イベント会場として選ばれるための「優位性」としてアピールできる
 - ✓ 定期的に運行すれば、それを前提にした周遊策や集客策の立案も可能になる

(3) 実証運行の結果を踏まえて

- 利用者の声から、空港島から市街地に移動する新規需要の創出や、夕食の課題解決などの効果が確認できた
 - 関係者からも定期的な運行にすることで、イベント誘致の促進や新たなプランの開発などが期待されている
- 便によって利用者が大きく増減しており、利用者が少ない便も含めて全てをバスで運行することは、地域のバス運転手確保の面で望ましくない
 - 無料での定期運行は、利用者や関係者にとって（短期的には）プラスだが、既存の公共交通事業者の利用者が減少すれば、かえって地域全体の公共交通が縮小する事態を招く
- ① 新たな移動需要を創出したり、いままで潜在化していた移動需要を発現したりし、地域活性化の好循環を生み出すため無料のシャトルバスの定期運行を実施します。
 - ② 地域全体の公共交通に影響が及ばないよう、交通事業者と、課題や実情、運行方法などをしっかり協議を行ったうえで実施します。

3 実証運行を踏まえた空港島～市街地シャトルバスの活用について

● 地元の課題

- 常滑市の活性化やさらなる来訪者の誘客のため、市街地側が持つ魅力的な地域資源も活かして、**広く地域に波及**させることが重要
- 初めて来訪する人でも、**空港島と市街地を気軽・簡単に移動できる「足」**が必要

● 交通事業者の課題

- コロナ禍や「2024年問題」の影響で、**人手不足が深刻**
- タクシーは、鉄道やバスでは対応できない移動需要に応える公共交通だが、一部時間帯で**需要過多・供給不足**が生じており、住民の生活移動でも利用者の希望に応じられない場面がある

● 宿泊事業者の課題

- 空港島では夜遅くまで営業している飲食店が少なく、宿泊客が**いわゆる「夕食難民」**となっている
- 市街地に多くの飲食店がありながら、コンビニエンスストアで食事を済ますケースなどあり、**来訪者の満足度が低下につながる**

実証運行を踏まえて、 シャトルバスで狙う効果



- 空港島と市街地を一つに結び、**新たな移動需要を創出**し、イベントを軸とした経済効果を**より広く地域に波及**させる
- ①移動ニーズが多く、地域への経済波及効果が期待できる**空港島～市街地を輸送力があるシャトルバスで分担し**、②**住民生活の移動や長距離の観光客ニーズなど細やかな移動需要をタクシーが分担する**
- シャトルバスの運行によって、シャトルバスとタクシーの**それぞれの長所を活かして、移動と交通サービスの「需要と供給」を調整**し、愛知県国際展示場の後背地としての**地域の課題解消と活性化**を目指す

4 2025年4月からの空港島～市街地シャトルバスの定期運行について

(1) 定期運行の実施

- 実証運行の結果からシャトルバスが、**新たな移動需要などの創出**や**愛知県国際展示場の後背地としての魅力向上**に資する効果が見込まれます。
- 定期運行化により**認知・定着が向上**し、来訪者に「**タビマエ**」段階から**市街地も周遊する計画**を立てるなど、**より大きな効果**も期待できます。
- **来訪者の満足度の向上**することに加えて、**新たな来訪者を呼び込む**きっかけになります。
 - 再訪意欲が高まり、**リピーターが増える**
 - イベントをきっかけに来訪した人の**滞在時間や宿泊期間が伸長**する
 - 名古屋など市外と比較して際に、**宿泊先に常滑市を選択する可能性**が高まる

空港島～市街地シャトルバスが地域活性化の好循環を生み出す

- 宿泊税を活用し、**2025年4月から定期運行(毎日)**を実施する
- イベントの有無や曜日などによって需要が大きく異なることから、まずはこれまでの実証運行のダイヤやルートをベースとして運行し、今後、宿泊者のニーズによっては見直しも検討する
- 実施にあたっては、地域の公共交通に影響が出ないよう、交通事業者といっしょに運行体制や車両などを検討し、**合意のうえで実施**する

- 今回の常滑市地域公共交通協議会で、運行・実施体制の案を含む定期運行の実施についてご協議のうえ、実施に向けて、**市が取組みを進めていく方針**について、ご承認をお願いします。

(2) 定期運行の案

実施時期	2025年4月～2026年3月（毎日）
車両	需要の予測に基づき、ワゴン車とマイクロバスを併用して運行
時間帯	2024年度実証運行（9時30分～23時）をもとに需要に合わせて調整中
ダイヤ・便数	2024年度実証運行（30分～60分間隔）をもとに需要に合わせて調整中
ルート	2024年度実証運行をもとに、一部停留所で調整中
運賃	無料

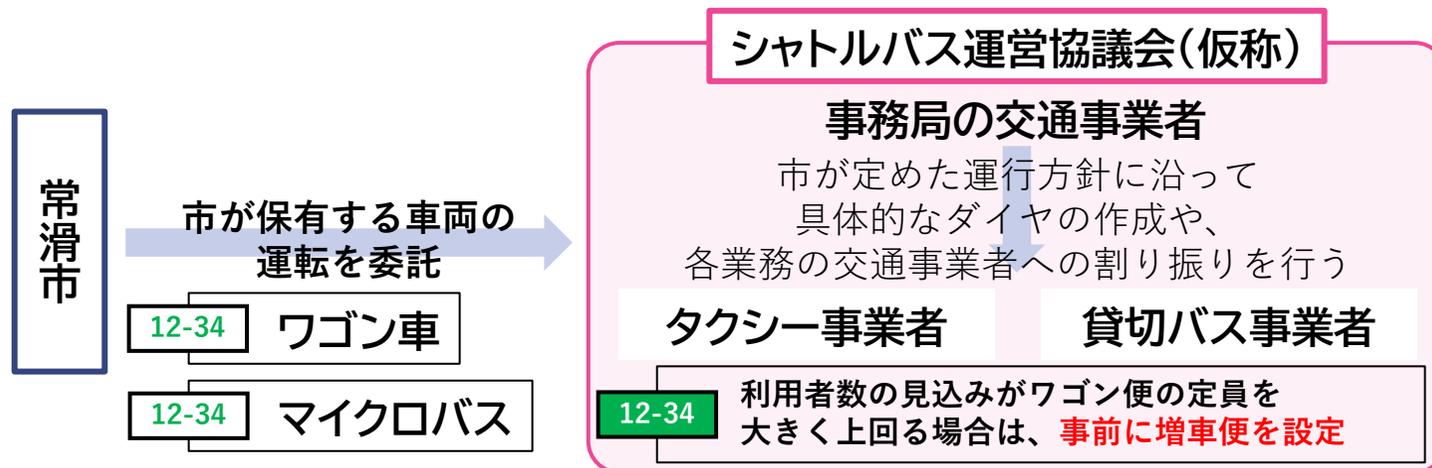


○ 停留所設置場所(案)

↔ ルート(案)

- 運行の時間帯、ダイヤ・便数、ルートは2024年度実証運行に準じる
- ただし、一部停留所は地図の円の範囲内で調整中

(3) 定期運行の実施体制の案



- 2023、2024年度の実証運行は**イベント開催日**に実施した結果、
 - イベントの内容・来場者数
 - 主催者を通じた出展者等への周知
 - クーポン施策など、様々な要因で**利用者数が増える**ことが確認できました。
- **イベント非開催日や平日**のデータが十分でないため、現時点で定期運行化した場合の利用者数の予測を立てることが難しい
- そこで、**ワゴン車とマイクロバスを、市が1台ずつ保有し、地域の交通事業者**に**車両管理や運転**を委託し定期運行をおこなう
- なお、イベントの内容や来場者数によって、事前の利用者数の見込みが非常に多く、ワゴン便の定員を大きく上回ることが明らかな場合は、交通事業者による増車便の設定も検討
- **共同体で運行するメリット**
 - 事業規模が大きい一方で、事業者の決定から運行開始までの期間が短く、**1社で受注した場合に運転手や車両の確保が難しくなる**が、共同体で実施することで、**複数社で体制を整える**ことができる

参考1 2023年度実証運行の実績(詳細)

	10時～17時		17時～24時		合計	
	乗車	降車	乗車	降車	乗車	降車
愛知県国際展示場	593		477		1070	
陶磁器会館	112	189	↓	↓	112	189
常滑駅	↓	↓	218	383	218	383
イオンモール常滑	224	456	108	106	332	562
愛知県国際展示場		274		304		578
合計(※)	929	919	803	793	1732	1712
便数	13便×12日-6便=150便		15便×12日-18便=162便		312便	
1便あたりの利用者	6.2		5.0		5.6	

※ 11月17日に降車の計上漏れ20名があり、合計が一致しない

- 1便あたりの平均の利用者数は少ないものの、20人以上が利用する便（最大40人）もあり
- イベントの規模・来場者や内容、時間帯により利用者数が大きく増減している
- 最も利用者が多かった11月18日は308人が利用したが、最も利用者が少なかった3月13日は37人だった

参考2 2024年度実証運行(9月のみ)の実績(詳細)

	9時30分～17時		17時～23時		合計	
	乗車	降車	乗車	降車	乗車	降車
愛知県国際展示場	96		165		261	
常滑駅	45	39	147	279	192	318
陶磁器会館	29	19	↓	↓	29	19
イオンモール常滑	76	69	77	75	153	144
空港島ホテル群	27	11	182	154	209	165
空港連絡通路下	16	47	20	43	36	90
愛知県国際展示場		79		65		144
合計(※)	289	264	591	616	880	880
便数	11便×5日=55便		8便×5日=40便		95便	
1便あたりの利用者	5.3		14.8		9.3	

※ 循環ルートのため、日中便に乗車し、夜間便で降車しているケースがあり、乗車と降車が一致しない

- 学生フォーミュラ（大学生がフォーミュラカーの制作を競う大会）で実証運行を実施
- 大会参加者は、作業可能な時間中は会場から移動しなかったため、日中便の利用は少なかった
- 一方で主催者から参加者向けの情報提供もあり、夜間便の利用は多かった

参考3 実証運行の実績(便毎の利用者数)

2023年度		10/5	10/6	10/7	11/16	11/17	11/18	11/19	12/9	12/10	3/13	3/14	3/15	2024年度		9/10	9/11	9/12	9/13	9/14	
10時台	1	10:00	2	0	1	0	13	12	5	8				1		0	0	11	4	12	
		10:15									1	3	1	2	10:15	7	5	4	9	13	
	2	10:30	0	0	3	0	2	1	3	3	17										
11時台	4	11:00	0	1	4	1	0	9	11	4	7	3	4	1	3	11:10	1	5	16	2	11
		11:30	0	1	9	0	2	4	11	16	12										
		11:40									0	3	2								
12時台	5	12:00	2	3	4	0	5	9	13	9	4			4	12:15	0	0	5	10	9	
13時台	6	13:00	2	5	5	1	5	7	12	20	40	3	3	5	5	13:00	3	0	5	1	16
		13:30	1	5	8	0	2	16	10	18	22	2	4	3	6	13:30	2	2	2	3	6
14時台	8	14:00	0	2	11	0	3	7	3	0	16	0	2	2	7	14:10	3	5	0	6	8
		14:30	1	1	7	0	6	21	8	16	13	1	3	0	8						
15時台	10	15:00	1	2	9	0	8	16	4	19	11	3	1	1	9	15:00	0	2	5	5	22
		15:30	1	3	8	0	15	23	5	21	15	1	2	5	10	15:30	5	3	3	4	15
16時台	12	16:00	3	2	11	0	10	18	2	23	19	1	7	8	11	16:15	12	3	6	10	25
		16:30	16	2	3	0	23	31	5	11	8	2	1	2	12	16:45	0	0	5	4	9
17時台	14	17:00	4	0	5	6	27	11	6	12	0	2	1	2	13	17:05	0	8	14	19	3
		17:15	5	8	4	11	40	6	4	1	2	2	4	2	14	17:35	8	17	20	12	14
		17:45	0	2	4	8	29	30	17	25	4	3	1	0	15	17:55	10	14	14	21	9
18時台	17	18:15	0	0		7	18	26	27	17	1	2	16	2	16	18:30	4	24	4	9	4
		18:45	0	0		8	10	6	17	4	6	7	1	0	17	18:50	4	18	18	16	8
19時台	19	19:15	0	0		2	9	15	8	6	0										
		19:45	0	0	0	3	9	12	0	1	2	0	3	2							
20時台	21	20:15	0	0	0	0	19	4	1	13	25				18	20:05	11	23	27	43	21
		20:45	6	6	1	3	20	12	12	4	10	0	5	0							
21時台	23	21:15	0	0	3	4	1	4	1	2	0				19	21:05	14	20	30	4	29
		21:45	0	0	1	1	0	0	4	2	2	3	1	1							
22時台	25	22:25	0	0	0	0	2	5	1	0	12	1	4	2	20	22:05	0	5	19	18	0
		22:55	0	0	0	0	3	0	16	2	6	0	1	0							
23時台	27	23:25	0	0	0	0	4	2	12	4	0				23:00	0	0	0	0	0	
		23:55	0	0	0	0	0	0	7	9	0										
合計			44	43	101	55	272	308	232	267	262	37	70	41		84	154	208	200	234	

- 2023、2024年度の実証運行を通して、利用者が8人以下の便は全412便中298便（72%）
- 2023年11月、12月や2024年9月の後半は約半数が9人以上利用しており、主催者との連携が重要
- それでも時間帯によっては利用者が少ない便もあることから、イベントの内容によって、人が異動する時間帯が変化
- 定期運行化によって利用が増える可能性はあるが、現時点でイベント非開催日も含めて、全便がマイクロバスである必要はない

8人以下の便	27	28	21	27	16	13	16	14	16	21	20	21
9人以上の便	1	0	4	1	12	15	12	14	12	0	1	0
便数の合計	28	28	25	28	28	28	28	28	28	21	21	21

					合計	合計
16	14	11	10	7	298	72%
4	6	9	10	13	114	28%
20	20	20	20	20	412	100%